

単元名 つくって使って味わう工芸(デザインや工芸など)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表すことができる。
- (2) 材料のよさや美しさを基に、使う場面や機能などから主題を生み出し、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現を構想できる。使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しをもって創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

11270103_001

【準備等】木材、皮革、金属、木工やすり、紙やすり、電動糸のこ、ニス、染料、筆記用具、色鉛筆、絵の具、彫刻刀

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 身近なものがどんな材質でつくられているか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な暮らしの中にある、さまざまな材料でつくられたものについて思い出す。 ★どんな材質からつくられているだろう。 <p>○材料の特性や、つくられたものの機能性とデザインとの関連などについて考えながら鑑賞する。</p> <p>2 手づくりのよさについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手づくりのよさについて意見を出し合う。 ★手づくりのよさは何だろう。 <p>○材料のよさや美しさ、使う場面や機能などからつくりたいものを考え、主題を生み出す。</p> <p>3～4 主題を基に制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主題を基にアイデアスケッチをしながら構想を練る。 ★主題にあった材料を選択しよう。 ○材料や用具を準備し、制作の手順などの見通しをもつ。 ○素材に合った表現を工夫して、必要に応じて柔軟に計画を修正するなどしながら制作を行う。 <p>5 鑑賞会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞会をする。 ★作品を鑑賞して、材料の特徴や機能性の工夫を感じ取る。 ○生活を美しく豊かにするデザインや工芸の働きについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なものがどんな材質でつくられているか考えさせる。 ・さまざまな材質でつくられたものを提示し、感触なども感じ取らせながら鑑賞させる。 鞆（皮）、くつ（皮、布、ゴムなど） コップ（ガラス）、お皿（焼き物）、 キーホルダー（金属、プラスチック）、鉛筆立て（寄木）など ・素材の特徴をまとめた資料を用意し、材料の特性と作品のデザインとの関係について考えさせる。 <p>【評】材料の特性や機能性などを考えてデザインすることに関心をもち、主体的に創造的な工夫をして表したり、表現の工夫を感じ取ったりする活動を通して、「主体的に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大量生産されたものと手づくりでできているものとを比較して考えさせてもよい。 ・つくり手の思いが込められていることや、使うときの喜びなどについて気付かせる。 ・ワークシートに記入させながら、つくりたいものと、材料と機能性、効果的な表現方法、手順などについて考えを整理させ、適宜アドバイスする。 <p>【評】材料のよさや美しさ、使う場面や機能などを基に、材料の特性や効果を考え構想を練ることを通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題に基づいて、様々な材料を選択できる環境を設定する。 ・生徒の思いを第一にしながら、多様な表現方法が同時に可能かどうかを考え、安全面などにも配慮しながら場の設定をする。 ・素材を体験する中で計画通りいかない場合があることも考えられるため、生徒の考えを聞きながら柔軟に対応する。 ・用具の取り扱いには十分注意させ、安全に気を付けながら取り組ませる。 <p>【評】材料の特性や質感、加工方法などに着目し、材料の持ち味を捉え、材料や用具の特性を生かし、見通しをもって表す活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの作品を使ってみるなどしながら鑑賞し合う。 ・他者の作品のよさや表現の工夫に共感して味わえるよう、肯定的な見方で鑑賞会を行う工夫する。 ・生活を美しく豊かにするための美術の働きや日本の伝統工芸のよさや美しさについて考えさせる。 <p>【評】材料の特性と機能性との調和の取れたよさや美しさ、手づくりのよさやつくり手の心</p>

と使う人の心を感じ取り，美術文化の継承と創造などについて考え，見方や感じ方を深める活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

私たちの生活は，自然から得た材料，金属や皮など，さまざまな材料でつくられたものを使って生活している。それらの素材の特徴とその材料の特性を生かしたもののよさなどに気づかせる。また，一つずつ手作業で丁寧につくられたものは，大量生産されたものにはない魅力がある。本単元では，材料や技法の特性を生かしながら制作することで，手づくりのよさを味わわせ，それらを実際に使う喜びや心を込めてつくる喜びを感じ取らせる。